

小学校新教科書の展示会始まる 政府見解押し付ける記述

来年度から使用される小学校新教科書の内容と検定結果が6月、教科書展示会で一般公開されます。

すべての小学校教科書に、タブレットなどで読み取ると関連のウェブサイトにつながるQRコードが掲載され、デジタル対応が進んでいます。

強制連行が動員に

「子どもと教科書全国ネット21」によると、政府見解をおしつける検定が強まっていると

指摘しています。

社会科学では、「強制連行」などの用語を「不適切」だとした、「政府見解」による記述の自主的な変更がされ、「強制的に動員された」に変えています。

「兵士となった朝鮮の若者たち」は、「志願して」が加わり、「志願して兵士となった朝鮮の若者たち」となっています。

社会6年歴史での沖縄戦における「集団自決」に関する記述では、米軍の攻撃に迫いつめられて「集団自決」が



おこったという趣旨の記述で、「集団自決」への日本軍の強制または関与の事実が、全く消されています。

道徳では、検定によって「愛国心」がいくつかの項目に打ち出されています。

子どもの学びや教師の教育活動に役立つものになっているか、見極めが大切です。

令和6年度使用教科用図書展示会の日程

市 町	期 間	時 間	会 場
鶴岡市 ①	6月15日（木）から 6月29日（木）まで	9:00～17:00 ※土日を除く	鶴岡市教育研修所 （鶴岡市櫛引庁舎3階）
鶴岡市 ②	6月17日（土） 18日（日） 24日（土） 25日（日）	10:00～16:00	鶴岡市中央公民館 （市民ギャラリー）
庄内町	6月14日（水）から 6月27日（火）まで	9:00～17:00 ※土日を除く	庄内町役場 （A棟2F）
三川町	6月15日（木）から 6月29日（木）まで	9:00～16:00	三川町役場 （2F教育委員会）

※令和6年度使用小学校教科用図書及び中学校教科用図書を展示します。

※鶴岡市②は小学校教科用図書のみ展示します。

＜庄内教育事務所主催法定展示＞

期 間	時 間	会 場
6月16日（金）から 6月29日（木）まで	9:00～16:45 ※土日を除く	庄内教育事務所図書展示室 （田川地区教科書センター） ※三川町横山字袖東7-1

※令和6年度使用小学校及び中学校教科用図書を展示します。

また、高校及び特別支援学校の教科用図書も展示します。

村の四季 48

鈴木重雄（八色木）

白鳥の来る頃

鳥海の嶺越え白鳥雪に入る

田んぼに稲がなくなると、庄内平野も眠りに入ったように寂寥を感じる。朝まだ薄暗い空に、白鳥は棹になり鉤になり、「コーコー」と鳴きながら空の彼方に消えていく。冬の近さを知らせる。

餌場を作って保護した。5、6羽だった白鳥が200羽を越えるようになった。地元の農家や多くの人たちの善意によって保護されてきた。

私が子どもの頃は、白鳥の姿を見たことはなかった。もっとも田んぼ一面が雪に覆われ、餌場がなかったからかも知れない。

山形大学農学部名誉教授の阿部襄（酒田市山寺）は、この白鳥は大体がオオハクチョウで、少し体の小さいコハクチョウも混じっている。オオハクチョウはシベリア北部で繁殖し、そこが凍結すると、冬期間日本などに渡ってくる。コハクチョウはシベリア東部で繁殖し、満州や朝鮮などに飛来するのが多く、日本には少数しか来ない、と言っていた。

白鳥が最上川河口に飛来したのは昭和41年11月、酒田市立第四中学校理科クラブの生徒たちが目撃したというので、翌年「白鳥を愛する会」が結成され、現在大飛来地になったという。

旧長沼小学校に、衝突した白鳥の立派な剥製の飾られている。体のすべりの線がなんと美しいものか知らされる。また白鳥が水面を泳いでいるときの首は、何ともしなやかで優雅である。

藤島川は、藤島町内を貫流し、三川町土口集落と、長沼上新田集落の境界を流れ、京田川に合流する。その流域に、長沼温泉「ぼっほの湯」がある。初代支配人の板垣久喜さんは、「長沼白鳥を愛する会」の事務局を担当し、忙しい合間に白鳥の面倒を見ていた。

上新田の白鳥は、3月頃まで春の陽光を受け、やがて一群また一群と大きく輪を描いて、北に向かって帰って行く。白鳥を愛する人たちは、我が子を旅立たせるような淋しい気持ちであろう。

板垣さんの話によると、平成2年頃から長沼温泉裏の藤島川川岸に来ていたのを、初代会長の富樫金一さんが餌付けしたところ、子どもたちが集まるので、村人たちは安全を考え



各地区で賑わい取り戻し 4年ぶりの市民運動会

6月4日(日)は、3年間休んだ市民運動会が、各地で4年ぶりに開催され、賑わいを取り戻しました。



(藤島地区は応援合戦も従来通り)



(八栄島地区)



(長沼地区・下も)



(東栄地区の子ども獅子踊り)

終章 大地とともに
「庄内の若い農民
佐藤さん」②

ひでは、民主的研修の講師・助言者として参加し、広く農村青年との交流もあった。

庄内では青年団活動が活発な大山を中心に、櫛引・三川青年団のいわゆる3町合同研修会が、庄内労農大学準備

ひと

村山俊太郎・ひで夫妻

青山 崇

中に、三川を会場に開かれ、助言者として参加している(左写真)。



この頃の前後は、県内各市町村の青年団は、研修会を中心に活動し、政治問題もタブーにせず、むしろこれを基にして農業・職場結婚や恋愛が語られた。とりわけ県青年問題研究会は、毛利健治山大名誉教授、星寛治農民詩人、佐藤藤三郎農民評論家などと、私も助言者として参加し、2泊3日で盛況であった。

藤島地区ではタイムリーな話題である『旧東田川郡役所及び郡会議事堂等の国指定史跡』、仮称『東田川史跡物語』を連載させていただきます。

変わらぬご愛読をお願いいたします。



(右写真・村山ひで)



世界の期待 届かず

どこの集落にもあると思うのが、個人の責任がない空き地・狭い官地だ。我が集落でも、草が立つので無償の花の苗を植えている。これはその時の話だ。

▲いつもの有志が集まった。そこで出た話が、「忘年会・東京でやろうぜ。赤い絨毯の階段で記念写真を写そうや」だ。みんな一斉に「いいのう・いいのう」の声。しかし、誰が代表で申し込んでも抽選で外れなんてネガ・となるが。真面目な話だ。

▲実際、何処に申し込んだら出来るんだ？そんな部屋はナンボあるんだろうか。ナンボ出せば借りられる？赤絨毯を汚したら金を取られるのかナ・など。週刊誌を見ていない俺には、興味シンシンだデ。

▲これを主催したセガレを、立派な理由を付

けて首切りを拒否したんだッケ。しかし2日置いたら、これまた立派な理由で首にしたんだヨ。どうなってんだこの人の頭？これが彼の政治の姿なんだが。

▲長い期間、喜々としていた首相。恐ろしいのは、首相が言っていた事と広島ビジョンが違うという事だ。広島だからこそ、国連事務総長も多くの国も期待していた議長国としての責任。核廃絶・核兵器禁止条約への提言。その文字が無かったトサ。それを隠して、さも自分が核軍縮へ各国を結束させたかを毎日口にしていったんだ。

▲歴史的だと言っって原爆資料館に入った各人。どんなものを見、何を感じたか。感想文をみたいものだが、誰の一言も流れ出ない。バイデンは核のボタンと一緒だったト。核で死んだ人達は、泣いていると思うヨ。(石川)